



# あかるいまち 21

## 支部の“魅力”アップ研修会～ 支部の魅力はまちを元気にする!～ & 2014年度 生協強化月間スタート集会

成功させよう!  
生協強化月間

9月22日(月) 月間のスタート集会も兼ねて、21支部58名の参加で「支部の魅力アップ研修会」を開催しました。今回は、愛媛医療生協の中塚組織部長を招いて、「お互いさまが生きるまち」～支部のありたい姿～の講演を聞きました。支部がやりたい気持ちになる「動機づけ」の話や「医療生協って、いいなあ～」と思える「実感」の体験から出発すること、「支部の魅力」から担い手を産みだすことなど、参考になるお話が満載でした。

後半は、10グループに分かれて、私たちの住んでいるまちを思い浮かべ、それはどんなまちなのか? どんなまちにしたいのか? まちでどんなことをやりたいか? 自由に発想し、グループでわいわい話しながらシートをつくっていきました。「子ども会がなくなって住民どうしのつながりがなくなっている」「団地の坂が急で、将来買い物とか出歩くのに不安」「地域の小学校が統廃合で4つから2つになる。通学が大変になりそう」「団地の活動が活発で何でも揃っていて生活には困らない」など様々なまちの風景が浮かんでいました。一方、「班が少ない」「組合員が点在している」「運営委員の住んでいるまちが遠く離れている」など支部の現実的な課題も出されていました。

今回この研修会で一番学びたかったことは? まずは、私の住んでいる「地域を知る」ことから始めよう!という問いかけでした。そして、「支部の魅力」を活かし、もっと地域でくらしやすくするために支部や医療生協がお手伝い出来ることはないか、そこから発展して、私たちの支部



【講師の愛媛医療生協中塚部長】



の「ありたい姿」や「3か年計画」づくりのヒントを見つける、そんな研修会でした。10月に入って、研修会のグループワークで行なったことを支部に持ち帰って、支部の運営委員会で私の住んでいる「地域を知る」ことから始めています。私たちの支部の「ありたい姿」が“1歩”踏み出されました。

協同組合がよりよい社会を築きます



広島中央保健生活協同組合